



廃棄物発生抑制の取り組み

使った容器包装を廃棄物にしない取り組み（リサイクル推進）

お客様が商品と一緒に持ち帰った容器包装を回収し、再生資源にリサイクルしています。

全店にリサイクルボックスを設置し、容器包装資材を回収することにより、捨ててしまえば廃棄物になるトレイや牛乳パックなどを、再び資源として活用できるようにリサイクルの環を実施しています。

容器の店頭回収

リサイクルボックスの全店設置

店内に専用のリサイクルボックスを設け、牛乳パックやトレイ、ビン・アルミ缶・ペットボトルなどを回収しています。また、毎月のリサイクル実績状況をポスターにまとめて掲示しています。

牛乳パックリサイクル実績



発泡スチロールトレイリサイクル実績



アルミ缶リサイクル実績



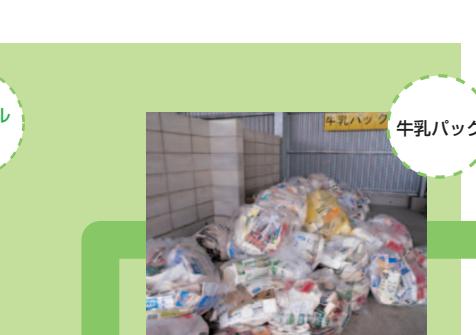
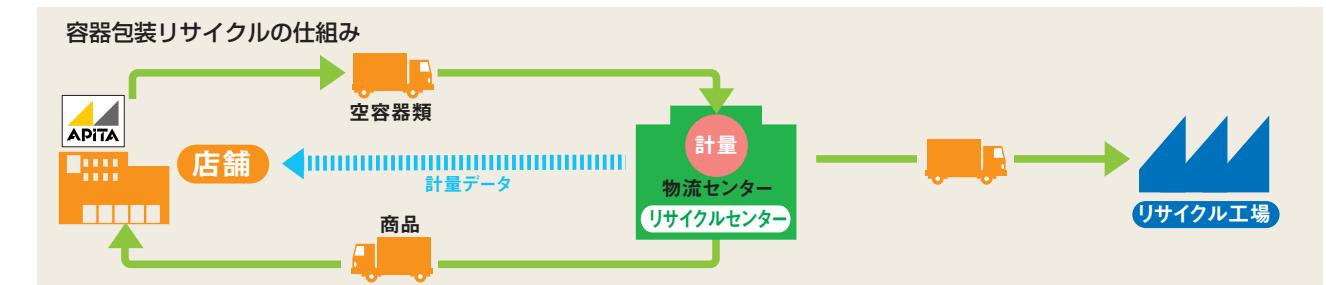
ペットボトルリサイクル実績



回収した容器のリサイクル

▶▶リサイクルセンターに集約

中部本部の80店舗で回収した牛乳パック、食品トレイ、アルミ缶などリサイクル資源は、弥富物流センター内のリサイクルセンターに集められます。ここで店舗ごとのリサイクル資源計量が行われます。また、リサイクルセンターへのリサイクル資源の運搬には商品配送から戻るトラックを使用することで、エネルギー・排気ガス削減に貢献しています。



- 各店舗からリサイクル資源が到着します。
- 袋に貼られた店舗コードを読みとり、店舗ごとの重さを量ります。
- 計量したデータはユニー本部へフィードバックします。



※計量システムは、中京本部で実施